

2026年2月27日

第1回中高生ロケットチャレンジ近畿予選大会 開催要項

和歌山県宇宙教育研究会

1. 目的

- (1) ロケットの面白さや魅力を感じてもらい、広く科学や工学への興味と関心を高めること。
- (2) 理工系への進路選択を後押しすること。
- (3) 中高生ロケットチャレンジ全国大会への出場推薦チームを決めること。

2. 日時

2026年5月23日(土) 9時～ ※小雨決行

3. 主催：和歌山県宇宙教育研究会

4. 後援：未定

5. 協賛：未定

6. 会場

和歌山マリーナシティ第3駐車場(〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見1527番地)

7. 競技内容 ※詳細は16.の競技規定をご覧ください。

- (1) 水ロケット(ペットボトルロケット) 定点着地競技
- (2) モデルロケットパラシュート滞空時間 National Class 部門
- (3) モデルロケットパラシュート滞空時間 World Class 部門

8. スケジュール ※時間は目安。変更になることがあります。

9:00	会場準備
10:00	受付・機体審査@マリーナシティ、打ち上げ順決定、一般見学者への開場
10:20	集合完了・顧問打ち合わせ・開会式
10:40～	打ち上げ競技(前半)
12:30～	昼食
13:30～	打ち上げ競技(後半)
14:30～	表彰式
15:00～	片付け・解散

9. 参加資格：以下の（１）（２）（モデルロケット部門は（３）も）をすべて満たすこと

（１）同一校の中学１年生から高校３年生（高専生は３年生まで）の１人以上３人以下のチーム。

同一校からの複数エントリー可。同一選手の同一部門の複数エントリーは不可。

※水ロケット部門とモデルロケット部門のダブルエントリーは可。

※モデルロケット部門の National Class と World Class のダブルエントリーは可

（２）学校長から承認を受けた引率教員がいること。引率教員は複数チームを率いてもよい。

・ 以下の（３）はモデルロケット部門のみ

（３）チーム内の１人が、モデルロケットライセンス４級以上を所持している。

10. 大会申し込み

申し込み用紙に必要事項を記入、捺印の上、PDF にして以下のメールアドレスに送付

兵庫県立芦屋国際中等教育学校 明田 昌裕 宛

メールアドレス s704861@hyogo-c.ed.jp 申込み〆切は 2026 年 5 月 1 日

11. 審査員：未定

12. 表彰および全国大会推薦チームについて

（１）各部門 1 位～3 位までを表彰する。

（２）モデルロケット各部門は上位 3 チーム、水ロケット部門は総合技術部門 3 チーム、精密着地部門 1 チームを推薦する。

（３）推薦チームは、各部門で同一校から 2 チームまでです。

13. その他

（１）審判員、運営者の指示には必ず従うこと。判定に関する抗議、問い合わせ等は一切受け付けない。

（２）やむを得ない事情で大会が中止、延期になった場合、交通費、宿泊費等の補償はされない。

（３）大会中の選手、顧問の体調管理や怪我の防止などは各チームで責任をもつこと。

14. 参加料

無料。ただし、使用するロケット、エンジン、イグナイター等は各チームが持参すること。

15. お問い合わせ先

兵庫県立芦屋国際中等教育学校 明田 昌裕

TEL 0797-38-2293 メールアドレス s704861@hyogo-c.ed.jp

16. 競技規定

I. モデルロケット部門 (National Class および World Class の 2 部門とする)

- (1) ロケットが発射してから着地するまでの時間を記録し、滞空時間の長さを競う。
滞空時間は 1/10 秒単位まで記録し、1/100 秒の数値は切り捨てる。
- (2) 各チーム 2 回発射し、良い方の記録がそのチームの記録となる。
- (3) ロケットはパラシュートを用いて、ノーズコーン、ボディチューブ、フィンを分離せずに回収すること。
- (4) 以下の場合には失格となる。
 - ① パラシュートが開かなかった場合
 - ② 競技会場の敷地から外に出た場合
 - ③ ロケットが着地までに破損した場合
- (5) 使用エンジン
National Class : 1/2A クラス
World Class : 1/2A クラスまたは A クラス
※各チームで用意すること。他のエンジンは不可。
- (6) 機体
 - ① ロケットはあらかじめ完成したものを、各チーム 2 本用意すること。
 - ② 直径 : National Class は 24mm 以上 World Class は 40mm 以上とする。
また、ロケット全長の 50% 以上をボディチューブが占めること。
 - ③ 競技で使用される機体は、事前に安全な飛行が行えることが確認されていること。
 - ④ 機体を構成する部材は、紙、木、プラスチックなどの非金属を用いて製作すること。
ただし、エンジンを固定するエンジンフックを除く。
 - ⑤ 機体 (ボディチューブ) の外装に、容易に判読できる文字でチーム名を明記すること。
 - ⑥ 機体の外表面は、原則としてフィンとノーズ以外は鋭利な形状の部分があってはならない。
 - ⑦ 市販のものをそのまま使用することは不可とし、設計・製作に主体的に取り組んだ機体であること。
 - ⑧ リカバリーシステムはパラシュートのみとし、パラシュート、ノーズ、ボディチューブ、フィンが分離せずに回収できるもの。
 - ⑨ エンジンの取り外しが容易にできること。機体審査時にエンジンの確認あり。
- (7) 発射台・発射ボタン
 - ・ 大会主催者が『エステス 1256 アルファーⅢモデルロケット組み立てキット』に入っているものを用意する。

II. 水ロケット部門

- (1) 50メートル先の目標点を目指して飛ばし、目標点に近づけられるかを競う。ロケットの最終到達点と目標地点との距離を cm 単位まで記録し、mm 単位は切り捨てる。
- (2) 各チーム 2 回発射する。
- (3) ロケットはノーズコーン、ボディ、フィンを分離せずに回収すること。
- (4) ロケットが着地までに破損した場合は失格とする。
- (5) ロケットに入れる最大気圧は 5 bar とする。
- (6) 機体
 - ① ロケットはあらかじめ完成したものを、各チーム 2 本用意すること。
 - ② 炭酸飲料用の円形のペットボトルを使ったものとする。
 - ③ 競技で使用される機体は、事前に安全な飛行が行えることが確認されていること。
 - ④ 機体を構成する主たる部材は、紙、木、プラスチックなどの非金属を用いて製作すること。
 - ⑤ 機体（ボディ部）の外装に、容易に判読できる文字でチーム名を明記すること。
 - ⑥ 機体の外表面は、原則としてフィンとノーズ以外は鋭利な形状の部分があってはならない。
 - ⑦ 市販のキットをそのまま使用することは不可とし、設計、製作に主体的に取り組んだ機体であること
- (8) 発射台
 - ・ 大会主催者が『タカギペットボトルロケット製作キット』を用意する。

「中高生ロケットチャレンジ近畿大会」参加申込書

令和 年 月 日

1. 学校

学校名		
校長名	印	
住所	〒	
電話・FAX	電話	FAX
Email		

2. 参加生徒（学年は中学・高校に○をつけてください）

※ 複数チームをエントリーする場合は、この用紙を複製してご記入ください

※ ライセンスナンバーはモデルロケット部門に出場する場合のみ記入してください

チーム名	引率教員	部門 (○をつけて ください)	・モデルロケット National Class ・モデルロケット World Class ・水ロケット部門
参加生徒 1	フリガナ 氏名	(中学 ・ 高校 年 男・女) ライセンスナンバー ()	
参加生徒 2	フリガナ 氏名	(中学 ・ 高校 年 男・女) ライセンスナンバー ()	
参加生徒 3	フリガナ 氏名	(中学 ・ 高校 年 男・女) ライセンスナンバー ()	

3. その他 ※連絡事項などがありましたら、以下にお書きください。

--

※ 当日撮影した写真や動画などの一部が、テレビ・新聞・雑誌・Web等へ掲載される場合があります。あらかじめご了承ください。

申込先 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 教諭 明田 昌裕
 メール s704861@hyogo-c.ed.jp 申込〆切 2026年5月1日